

編集後記

CHUKYO LAWYER 2号をここに刊行できることを感謝します。本号は、平成16年度における法曹養成研究所シンポジウムならびにオープンセミナーを所収し、さらに多数の論攷を頂戴することにより無事刊行に辿り着くことができました。シンポジウムは法科大学院という新しい法曹養成システムの中で検察官養成、さらに広く刑事法教育の新しい在り方に問い掛けをするものであります。また、オープンセミナーは、竹下弁護士に、その人間性そのものを法科大学院生のための教科書として問い掛けたものであります。これらの開催の折りには、参加は出来ないけれども、資料を是非送って欲しいという問い合わせが多数ありました。ここに資料だけではなく、その内容をもお届けすることで、その折りの申し訳なさを埋め合わせることが出来ます。

なお、刊行が予定よりも数ヶ月遅れたこと、また、誤植等については、すべて編集人の責めに帰すべき事由です。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

(中京大学法科大学院長代理 池野 千白)